

**広島初・地域開放型デジファブ拠点『M-Hub』、初公開！
Fab Lab メディア向けツアー&オープニングイベント開催**

学校法人鶴学園 広島工業大学（所在地：広島市佐伯区三宅 2-1-1）は、子どもから大人までの幅広い世代が、趣味・学習・研究・交流を通じて“ものづくり”に取り組むことができる環境の提供を目的に「Hiroshima Making Hub（通称：M-Hub）」を2025年4月に設立しました。

開設を記念し、M-Hubの中核施設である「Fab Lab」において、オープニングイベント『Hiroshima Making Hub Meeting』を開催します。本イベントでは、メディア関係者や教育関係者を対象に、Fab Labの設備紹介や施設見学ツアー、基調講演などを通じて、地域・大学・高校が連携する“ものづくり拠点”としての今後の展望を紹介します。

本施設は、現在は学園関係者向けの運用に限られていますが、来年度からは順次、地域にも開放する予定です。こうした大学主導の地域開放型デジタルファブリケーション（デジタルデータをもとに創造物を製作する技術）拠点の設立は、広島県内初の取り組みとなります。

■Hiroshima Making Hub とは

Hiroshima Making Hub（M-Hub）は、“つくる”ことを起点に学び・研究・交流を促進する、共創型ものづくり拠点です。以下の4つのラボで構成されています。

- ・ Fab Lab：ものづくりの“秘密基地”、最新のデジタルファブリケーション機器を完備
- ・ Digital Lab：プロ仕様のGPU（高速画像処理装置）を搭載したパソコンを設置
- ・ Metal Lab：多様な金属加工機器がそろい、高精度な実験装置や部品製作に対応
- ・ Wood Lab：木工機械からデジタル機器まで幅広い設備を完備

学生、教職員、企業、地域住民など多様な人々が集い、趣味レベルの制作から実践的研究、さらにはスタートアップ支援に至るまで、自由にアイデアを形にできる環境を提供します。本学のものづくり技術と発想力を活かし、地域貢献と人材育成を推進する、広島県内でも先進的な取り組みです。

■Fab Lab とは

M-Hubの中核施設である「Fab Lab（ファブラボ／Fabrication Laboratory）」は、3Dプリンター、レーザーカッターなどの最新デジタル工作機器を備えたものづくり工房です。アイデアの具現化、試作開発、デザイン教育などを通じて、創造的な活動を幅広く支援します。



（左から）3Dプリンター、レーザーカッター、UVプリンター、刺しゅうミシン、カッティングプロッター

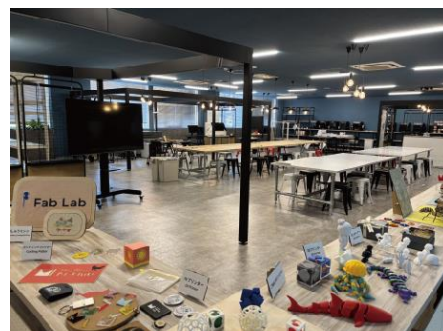
■Fab Lab 設立の背景

このFab Lab設立の背景には、「多くの人に“ものづくり”の楽しさを知ってもらいたい」という本学の思いがあります。近年、デジタルファブリケーション技術の進展により、誰でも簡単に自分のアイデアをかたちにできるようになりました。理系離れが進む今こそ、その思いを実現すべく、Fab Labを設立しました。今後は、高大接続授業や地域への開放も予定しており、世代を超えた交流が生まれる「オープンなものづくり拠点」をめざします。

一方、広島工業大学高等学校では、理数・工学・芸術に創造的・協働的な学びを組み合わせた探究型教育を実践する「K-STEAM 類型 CL コース」を設け、専用教室「Creative Learning Lab（CLL）」を拠点に、自由で主体的なものづくりを実践しています。今後、Fab LabとCLLは連携し、製作活動に取り組める場を提供していきます。

■ 「Hiroshima Making Hub Meeting」 開催概要

1. 日 時 2025年5月28日(水) 13:00~16:00
2. 場 所 広島工業大学
三宅の森 Nexus21 4階 nexus for.
(広島市佐伯区三宅 2-1-1)
3. 対 象 メディア関係者、行政関係者、中学校・高校の教職員、
地元企業の皆様
4. プログラム 13:00~14:00 Fab Lab 見学ツアー



Fab Lab

※ 13:00~14:00 に、メディア関係者の方向けに Fab Lab についてご説明します。
Fab Lab を見学していただいた後に、Fab Lab ラボ長へのインタビューも可能です。
【対応者】 Fab Lab ラボ長
村上 修二 (広島工業大学 副学長/工学部 電気システム工学科 教授)

<第1部>

- 14:00~14:05 開会挨拶
長坂 康史 (広島工業大学 学長)
- 14:05~14:20 Hiroshima Making Hub 概要説明
村上 修二 (Fab Lab ラボ長)
- 14:20~15:00 基調講演
田中 浩也 氏 (慶應義塾大学 環境情報学部 教授)

<第2部>

- 15:10~15:25 講演① 大学生に向けたデジファブ教育
杉田 宗 (広島工業大学 環境学部 建築デザイン学科 准教授)
- 15:25~15:40 講演② 高校生に向けたデジファブ教育
平原 豪人 (広島工業大学高等学校 教諭)
- 15:40~15:55 講演③ 地域の中のデジファブ教育
デジタルファブ리케이션協会
- 16:00~17:00 Fab Lab 自由見学

4. 取材について 本イベントの様子をぜひ多くの方にお伝えいただきたく、メディア関係者の皆さまのご取材を心よりお待ちしております。
ご希望の方は、5月27日(火) 17:00 までに、以下の申込み先までご連絡くださいますようお願いいたします。

内容に関する各種お問合せ	TEL: 082-921-4283 (直通) 担当: 教学支援部 平本	E-mail: fablab@it-hiroshima.ac.jp
取材に関する各種お問合せ (取材の申し込み先)	TEL: 082-921-3128 (直通) 担当: 広報部 石田	FAX: 082-921-8946 E-mail: kouhou@tsuru-gakuen.ac.jp



Hiroshima Making Hub

新たな“ものづくり”の可能性を探る Hiroshima Making Hub Meeting

日時 令和7年
5.28 水
13:00~16:00
※16:00~17:00はFab Labを
自由に見学いただけます。

場所 広島工業大学
三宅の森Nexus21 4F nexus for.

[対象] メディア関係者、行政関連、中高の教職員、地元企業 [申込] 予約不要

プログラム >>> 13:00-14:00

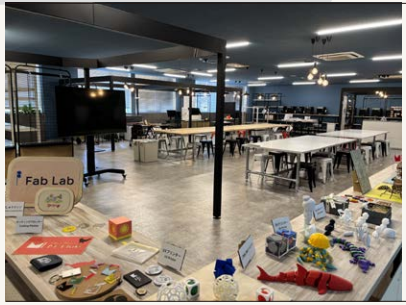
Fab Lab 見学ツアー

**what's
Hiroshima Making Hub**
アイデアをかたちにして未来を拓くことを目的として、2025年4月に設立されました。中心施設であるFab Labには先端のデジファブ機器を備え、子供から大人まで幅広い方々が趣味・学習・研究・交流を行える環境を提供します。本施設は新たな“ものづくり”の可能性を参加者の皆さまと共に考える場です。

14:00-14:05
14:05-14:20
14:20-15:00

<第1部>
学長挨拶
Hiroshima Making Hub概要説明
基調講演

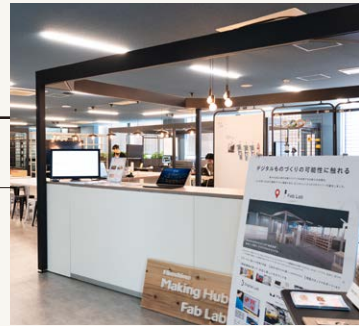
■ 慶應義塾大学環境情報学部 教授 田中 浩也氏
慶應義塾大学KGRI環デザイン&デジタルマニュファクチャリング創造センター長、ファクトリーサイエンティスト協会理事、ファブラボジャパン発起人(ファウンダー)。2020東京五輪ではリサイクルプラスチックを用いた3Dプリント表彰台の設計統括、2025大阪万博では日本館の3Dプリンタ展示制作など、日本のデジタルファブ리케이션を牽引。



15:10-15:25
15:25-15:40
15:40-15:55

<第2部>
講演① 大学生に向けたデジファブ教育
■ 広島工業大学 准教授 杉田 宗氏
講演② 高校生に向けたデジファブ教育
■ 広島工業大学高等学校 教諭 平原 豪人氏
講演③ 地域の中のデジファブ教育
■ デジタルファブ리케이션協会

16:00-17:00 Fab Lab 自由見学



未来の、その先をつくる。
広島工業大学

工学部 | 情報学部 | 環境学部 | 大学院
〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1 TEL:082-921-4283(Fab Lab)



2025H080